

9 スポーツとオリンピック・パラリンピック

オリンピック・パラリンピックなどのスポーツの写真を学習の導入で用いたり、コラムでスポーツと理科との関係を扱ったりするなど、色々な角度から理科への興味・関心を引き出す工夫をしています。

3年 p.281



オリンピック・パラリンピック
選手が教科書に登場!

1年 p.238 ~ 239

3年 p.190, 266, 281



レイアップシュートのコツ

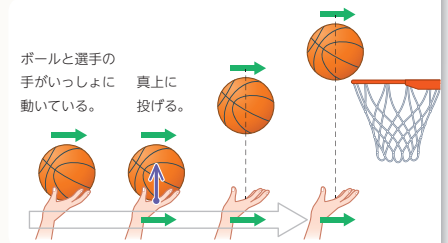
バスケットボールのレイアップシュート(走りながら打つシュート)は、プレイの基本です。上手な選手はいとも簡単にシュートを決めますが、このプレイには慣性の法則が関係しています。

まず、フリースローのように立ち止まって打つシュートを考えましょう。このとき、選手はボールをゴールに向けて投げます。しかし、レイアップシュートのように走りながら打つシュートでは、ボールをゴールに向かって投げると失敗するので、「上に置くように投げる」とよいとされています。これはなぜでしょうか。

走りながら打つシュートでは、手は必ず直前まで、ボールは走る選手といっしょにゴールに向かって進んでいます。つまり、ボールはゴールに向かう水平方向の運動をしています。そこで、ボールを自分の真上に置くように投げると、ボールは水平方向には慣性の法則に向かって動いていき、うまく



レイアップシュート



レイアップシュートのしくみ

3年 p.199

スポーツと
理科のつながりが
わかるコラム

教科書上の配慮

10 だれもが支障なく学べる教科書を目指して

啓林館は、すべての子どもたちが支障なく学習できるインクルーシブ教育を目指します。(監修：筑波大学 柘植雅義 教授)

● 特別支援教育等への配慮



メディア・ユニバーサル・デザイン

色覚特性をふくめた、すべての人が見やすく、読みやすいデザインにしました。(メディア・ユニバーサル・デザイン協会の認証を申請中)

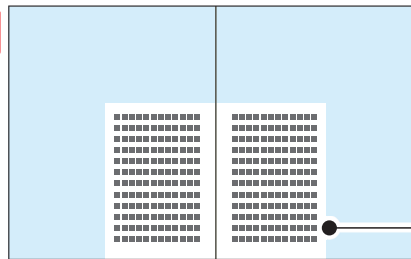


ユニバーサルデザインフォント

だれもが「読みやすい」、「読み間違えにくい」フォントを採用しました。フォントサイズや行間にも配慮しています。

● 読みやすいレイアウト

新



図や写真は上部、本文は下部にそろえたレイアウトを基本にした、可読性・視認性の高い教科書です。

配慮したポイント

- ① 本文の流れを切るように図を配置しない。
- ② 本文幅を一定にする。

×

